

## 信用を失墜させた役員は責任を取れ！！



保険業法違反による会社の損害は、役員個人賠償が当然。

旧安田は組合潰しの常習会社  
労働三法を守る意識は希薄  
中央労働委員会の命令で宮本会長は  
組合に謝罪文を提出したこともある

明治安田生命労働組合協議会 議長 首藤信次郎

マスコミは最初、大労組の明治安田労組の方に取材に行ったそうですが、会社べったりで話にならないと、労協の議長である私の方にきました。社長をかばいたてる義理も人情も持ち合わせていないので、ありのままを正直に発言した。不払い問題は氷山の一角、今後も相当な件数が出てくる。金子社長以下役員の実責任は重大で、即刻辞任すべきである等々。まじめに働いている一般社員は酒気帯び運転だけで解雇し、会社に巨額な損害を与えた本社役員は平然と居座っている状況は許せない。不祥事を隠蔽し、契約者利益に反する経営体質では世間の信用は回復しない。TVや新聞で私の発言が報道された後、多数の視聴者から、当然な意見だ、組合は今後もチェック機能を果たせ、との意見が寄せられました。

## コンプライアンス委員会は機能してるのか？

社外の有識者を交えたコンプライアンス委員会なるものを会社は設置したそうだが、実際に何をやり、どういう改善をしたのか、全く見えてこない。

社内の意見を聞こうとする姿勢も見られない。レディスユニオン・全労組・労働組合協議会とは一度も接触していない。

賞罰規程・就業規則に違反し、不当解雇を行なった人事部に対し、適切な指導もせず、放置している。

会社から手当を支給され、委員になった以上、まず不祥事の発生原因がどこにあったのか、社風を含め、広く社内意見を聴取して調査すべきである。会社の提出した資料を机上で眺めているだけでは、法令遵守は浸透しない。

## 組合と対話しない担当役員

金子社長に抜擢され、取締役人事部長(組合担当)になった、若狭一郎氏は就任後、組合に挨拶にも来ず、団交・経営協議会・三役交渉・総てを欠席している。耳障りのいい組合には出席し、辛口の組合には出席しないというのでは、担当役員として職務放棄であり、誠実な交渉義務に違反している。

今年に入り、会社は不祥事を批判した「**全労組 = 全明治安田生命労働組合**」に対し、協約の期限切れを理由に**組合事務所の明け渡し**を要求してきた。このような弱いものいじめの嫌がらせ、傲慢な姿勢が契約者にも向けられたのが、今回の不祥事であり、役員が総入れ替えでもしなければ改まらぬ体質である。

五万人の多数派組合(**労組 = 明治安田生命労働組合**)といっても、社員は入社時から、この組合に強制加入させられており、自由意思が尊重された結果の多数ではない。そのような組合から脱退したくても、制度的な圧力で身動きできずに泣き寝入りしているのが一般の立場であるから、そこを脱退した者は勇気があり筋金入りである。

戦後、組合保護を目的として制定された、ユニオンショップ協定、組合費チェックオフ制度が、今日では逆に組合を墮落させる原因となっており、多くの組合が会社に対するチェック機能を果せぬ存在になっている。早期に法改正し、少なくともユニオンショップ制度は廃止するよう政府に陳情する。

情報110番受付中

TEL 03-3346-2874

組合は社内改革のために、経営上の問題点・契約者とのトラブル・改善すべき事項等皆さんの意見、要望を受けています。組合本部まで積極的にご連絡ください。